

SSH事業 教職員へのアンケート調査について

総合理学部

このアンケートは、本年度のSSH成果報告書のための資料として本校が作成したものです。お忙しいところ恐縮ですが、本校のSSH事業について、下記のアンケートにご記入の上、**2月13日(木)**までに本用紙をアンケート回収箱(教務時間割変更黒板の前)にご提出ください。よろしく願いいたします。選択肢については、選択肢の番号に○印をつけてください。

本年度実施した主なSSH事業は、次の通りです。

課内：以下のカリキュラム及び指導法に関する研究開発

サイエンス入門，課題研究（課題研究発表会・中間発表会を含む），理数科専門科目（理数数学・理数理科），科学英語，現代社会（科学倫理），数理情報

課外：

特別講義の開講（4回），科学系部活動（自然科学研究会物理班・化学班・生物班・地学班）の推進・支援，科学系コンテストの参加（数学，物理，化学，生物）

休業日等：

サイエンスツアー『阪大大学院（生命科学研究科），京大（舞鶴水産実験所），東大医科学研究所・筑波学園都市・日本科学未来館』，臨海実習『京大（舞鶴水産実験所）』，発展的な研究発表の推進（3年次の継続研究や他の課題研究的活動に対する旅費等の支援），科学における国際理解教育（チャタム高校との交流，ラッフルズ生徒との交流）

その他：

SSH事業成果の普及（報告書の作成とSA等のウェブサイト構築），SSH通信の発行（10回），学びのネットワークの稼働『サイエンスアドバイザーの活用・SA通信の発行・SAサイトの運用』

コアSSH事業：

他校との共同研究，サイエンスフェア等

【1】 本校のSSH事業は生徒にとって、プラスになると感じますか。

- 0 大いにプラスになっている。 1 プラスになっている。 2 どちらともいえない。
 3 あまりなっていない。 4 なっていない。

【2】 SSH事業の取り組みは本校の特色作りにとってプラスになると感じますか。

- 0 大いにしている。 1 なっている。 2 どちらともいえない。
 3 あまりなっていない。 4 なっていない。

【3】 SSH事業の取り組みで、生徒のどんな力が育成できると思いますか。（複数回答可）

- 0 問題を発見する力 1 未知の問題にチャレンジする力
 2 知識を統合して活用する力 3 問題を解決する力
 4 交流する力 5 発表する力
 6 質問する力 7 議論する力

【4】 S S H事業の取り組みで、生徒のどんな力の育成が難しいと思いますか。
(上記選択肢を使って。複数回答可)

0 1 2 3 4 5 6 7

【5】 本校のS S H事業の取り組みは、教員の指導力の向上にプラスになると思いますか。

0 大いになっている。 1 なっている。 2 どちらともいえない。

3 あまりなっていない。 4 なっていない。

【6】 S S H事業の取り組みは学校運営の活性化にプラスになると思いますか。

0 大いになっている。 1 なっている。 2 どちらともいえない。

3 あまりなっていない。 4 なっていない。

【7】 S S H事業において「成果をあげている」と考えられる点について、ご記入ください。

【8】 S S H事業において「改善を要する」と考えられる点について、ご記入ください。

【9】 ご意見、その他お気づきのことがあれば、ご記入下さい。